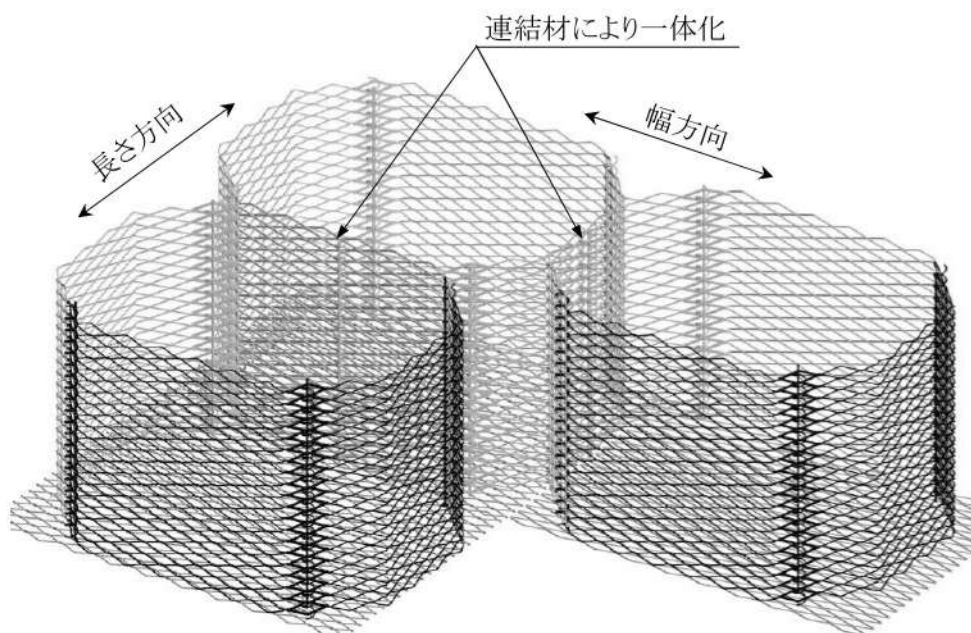
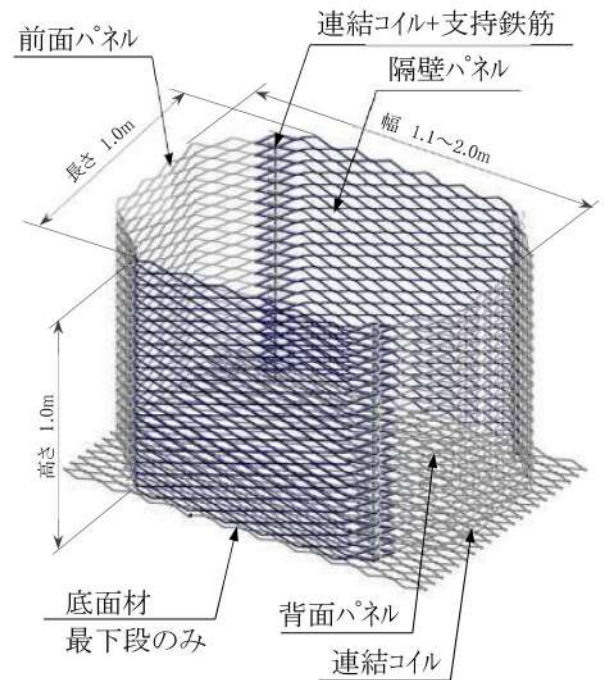


● 構造と特長

多角形 EX セルは、エキスパンドメタルのパネルを八角形のセル殻構造に組み立て、連続一体化して並べた中に礫や土砂を中詰めして構築する大型かご構造物です。

多角形のセルは中詰材により作用する土圧を分散化して変形を抑止するとともに、中詰材を拘束する効果も大きく安定性の高い形状です。

- 一枚板からなるエキスパンドメタルのパネルで構成されているため、耐荷性能に優れ、衝撃力に対しても粘り強い構造です。
- 独立したセルユニットは双方向に連続一体化でき、曲線・直角折れなど自在に対応可能です。
- 中詰材には50mm以上の礫、セル内側に吸出し防止マットを取付ければ土砂を用いることができるため、材料の調達がしやすく施工性が向上します。また、単位体積重量が大きい安定性の高い構造物が構築できます。
- シンプルな構造で軽量、組立てが容易なため工期短縮・コスト縮減が図れます。
- 床固工・護岸工および土留め工といった恒久施設としてだけでなく、大型土のうがちょうど収まる幅サイズにすることで堰堤・導流堤など幅広く緊急の応急対策工としても適用できます。



連続一体化した多角形セル イメージ